

令和元年度 国際連携委員会・国際交流推進特別委員会 合同開催 議事録

(令和元年10月10日 12:15～13:15)

国際連携委員会委員 (JUHA)

国際交流推進特別委員会委員

	役職	所属大学	氏名
1	委員長	岐阜大学	山本真由美
2	副委員長	立命館大学	中川 克
3	委員	慶應義塾大学	横山裕一(欠)
4	委員	九州大学	佐藤 武
5	委員	大阪大学	守山敏樹
6	委員	岐阜大学	西尾彰泰
7	委員	近畿大学	藤本美香

	役職	所属大学	氏名
1	委員長	岐阜大学	山本真由美(欠)
2	副委員長	金沢大学	吉川弘明
3	委員	山形大学	富樫 整
4	委員	政策研究大学院大学	鈴木真理
5	委員	東京工業大学	丸谷俊之
6	委員	東京農工大学	原田賢治
7	委員	京都大学	石見 拓
8	委員	高知大学	岩崎泰正

(1) 報告事項

- ① 令和元年6月25日の国際連携委員会議事録について確認された。
- ② 2019年5月30日 米国大学保健管理協会(ACHA)年次学術集会(デンバー)の日米セッション(ヘルシーキャンパス)について報告があった。【資料1】
- ③ 丸谷委員の調査結果「留学等で渡航する学生への健康管理に関する支援の状況についての全国調査」CAMPUS HEALTH56(1)244-249,2019が供覧された。【資料2】
- ④ 2019年5月31日 AURARIA CAMPUS、Medical Service(デンバーコミュニティーカレッジ、メロポリタン大学デンバー校、コロラド大学デンバー校、の共同利用施設)の見学について報告があった。【資料3】
- ⑤ 今年の全国大学保健管理研究集会(北海道)で「大学国際化に対応する保健管理業務」のシンポジウム企画について報告があった。【資料4】
- ⑥ ACHA 2020(100周年記念大会シカゴ)に全国大学保健管理協会から“お祝いメッセージ”を贈る準備について、確認された。
- ⑦ ACHA 2020では、「データ」をテーマに日米共同セッションに応募し、演者は、横山委員、石見委員、石黒先生(名大)にお願いすることについて報告があった。【資料5】
- ⑧ 「海外留学健康の手引き」を改訂し、2019年4月第三版の完成について報告があった。【資料6】

(2) 検討事項

- ① 海外から留学生を受け入れる際の保健管理業務を支援する冊子(PDF)を作成することとなった。「海外留学健康の手引き」をモデルにして、委員の分担執筆で完成をめざす。まず、12月31日を初稿の〆切のめどとし、3月31日完成をめざすこととした。【資料7】

(3) その他

- ① 委員会活動予算として要求していく。
- ② 「Health Management on Campus」の利用促進について委員長から依頼があった。2ページ程度をHPでおためし版として公表することはできないか、出版社へ依頼することとなった。【資料8】
- ③ 阪上優先生(京都大学)、杉原志伸先生(島根大学)より、委員就任の希望あり。国立大学保健管理施設協議会の理事会承認の後、委員委嘱を行なう予定。その後、活動を開始していただく。

④ 鈴木委員と岩崎委員から、今年度で定年退職予定であることが連絡された。